

阿南安芸自動車道(奈半利～安芸)における計画段階評価

1. 高知県東部地域の課題

①南海トラフ地震に対する地域ネットワークの脆弱性

○国道55号の奈半利～安芸間では、津波により約8割が浸水（最大浸水深約9m）すると予測されている。（図1、図5）



図1 津波浸水状況(安田町、田野町) 【写真②：高知県提供】

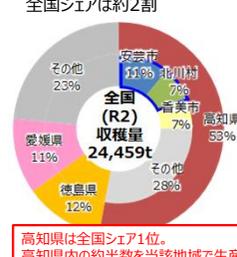
②地場産品の安定的な出荷が困難

○安芸市・北川村は全国的なゆずの生産地であるが、高規格道路が整備されていない当該地域の全国シェアは低下傾向。（図2）

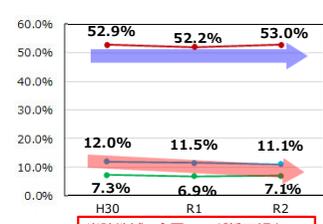
▼農産物の輸送に時間を要する四国東南地域



▼安芸市・北川村におけるゆずの全国シェアは約2割



▼当該地域におけるゆずの国内シェアが低下傾向



出典：国内シェア・特産果樹生産動態等調査(H30-R2)（農林水産省）
県内シェア：高知県の園芸(R1-R3)（高知県）

③観光客数の伸び悩み

○高知県全体の観光客数が増加傾向の中、高知県東部地域の観光客数は伸び悩んでいる。（図3）

④救急医療施設への速達性・安静搬送に支障、交通事故が多発

○奈半利～安芸間を通過する県立あき総合病院（第二次救急医療機関）への救急搬送は、年々増加傾向である。

○室戸消防本部内に救急指定病院がないため、救急搬送の大部分が管外搬送となっている。（図4）

○また、対象区間は線形不良箇所や事故危険区間が存在し、安静搬送や交通安全に問題を抱えている。

▼当該地域の観光入込客数は伸び悩んでいる

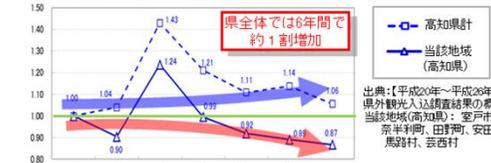


図3 高知県東部地域の観光入込客数の推移

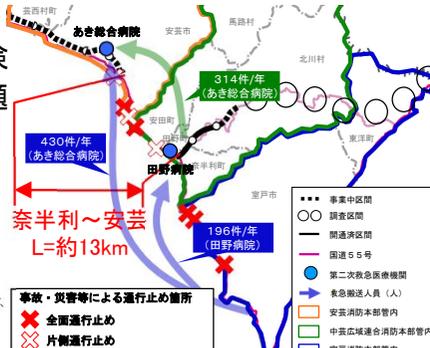


図4 安芸地域の医療機関への搬送状況

2. 原因分析

①脆弱な道路の耐災害性

○唯一の幹線道路である国道55号(奈半利～安芸)は、南海トラフ地震の津波（最大津波高16m）により、約8割浸水する。（図5）

②脆弱な物流ルート

○対象区間には迂回路がなく、国道55号では、異常気象により土砂災害や越波などによる通行止めが発生している。（図5）

▼国道55号(奈半利～安芸)の約8割が津波浸水



図5 国道55号の現状



③アクセス性が低い広域観光ルート

○対象区間は、高知県東部地域への広域観光周遊ルートの役割を期待されているものの、周遊性の高い道路が整備されていないためアクセス性が低い。

④救急搬送時における道路ネットワークの速達性、安全な走行性が不十分

○第三次救急医療機関への搬送件数は減少傾向ではあるが、各消防本部から毎年100件以上の搬送が行われている。（図6）

○線形不良箇所や事故多発箇所の存在により、揺れが少なく安全な走行性が確保されていない。

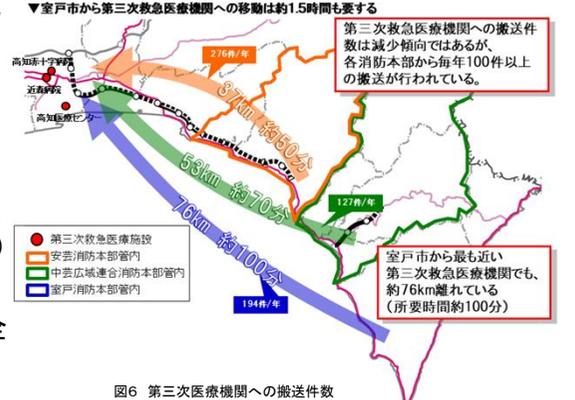


図6 第三次医療機関への搬送件数

3. 政策目標

①南海トラフ地震等に備えた信頼性の高いネットワークの確保

②速達性・走行性の向上により産業振興を支援

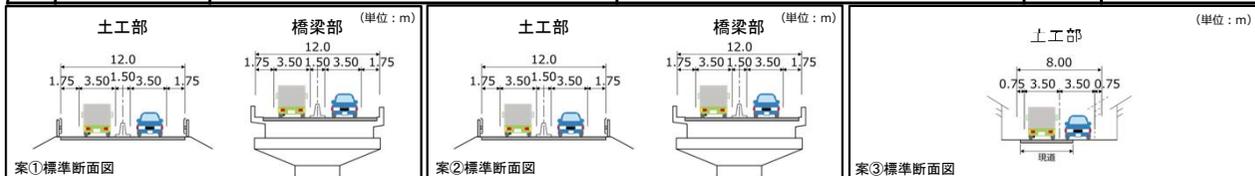
③地域間の交流促進により広域的な観光振興を支援

④救急医療機関への速達性の向上や安静搬送の実現、走行性向上による交通事故の減少

阿南安芸自動車道(奈半利～安芸)における計画段階評価

4. 対策案の検討

対策案の考え方		案① 市街地(集落)との連続性を優先するバイパス案	案② 区間延長を短くしたバイパス案	案③ 現道改良案 (現状の国道55号の急カーブ・道幅等を改良する案)					
評価項目		延長 約13km 80km/hで走行できる自動車専用道路(2車線)	延長 約12km 80km/hで走行できる自動車専用道路(2車線)	延長 約14km 60km/hで走行できる一般道路(2車線)					
政策目標	①南海トラフ地震等に備えた信頼性の高いネットワークの確保	国道55号の代わりとして利用できる	○	○	現状の国道55号を改良するため、代わりとはならない	△			
	②到達性・走行性の向上により産業振興を支援	円滑な連絡が確保できる(案②より連絡距離が短い)	◎	○	津波浸水影響を受けるため、連絡が確保できない	△			
	③地域間の交流促進により広域的な観光振興を支援	避難路と連携した一時的な避難場所としての活用	◎	○	避難場所として一部活用できる	○	津波浸水影響を受けるため、避難場所として活用できない	△	
	④救急医療機関への到達性の向上や安静搬送の実現、走行性向上による交通事故の減少	市場までの輸送時間短縮・商品の品質確保(急カーブや信号交差点の影響)	輸送時間の短縮や商品の品質確保が見込まれる(案②より集荷場からのアクセス性が優れる)	◎	○	輸送時間の短縮や商品の品質確保は、さほど見込めない	△		
配慮すべき事項	自然環境	動物への影響	影響の可能性はあるが小さい	○	○	影響の可能性はあるが小さい	○		
	植物への影響	影響の可能性はある	△	○	影響の可能性はある	△	影響の可能性はあるが小さい	○	
	生活環境	集落などへの影響	小さい	○	◎	大きい(案①より小さい)	△		
	重要な史跡等への影響	影響の可能性はあるが小さい	○	○	◎	影響の可能性はある	△		
その他	事業期間	建設に要する期間	長い(案②より短い)	○	○	長い	△	短い	◎
	経済性	建設に要する費用	約600～650億円	○	○	約750～800億円	△	約50～100億円	◎



対応方針:案①による対策が妥当

【計画概要】

- ・路線名:一般国道55号
- ・区間:高知県安芸郡奈半利町乙～高知県安芸市伊尾木
- ・概略延長:約13km
- ・標準車線数:2車線
- ・設計速度:80km/h
- ・概ねのルート:図6 案①のとおり

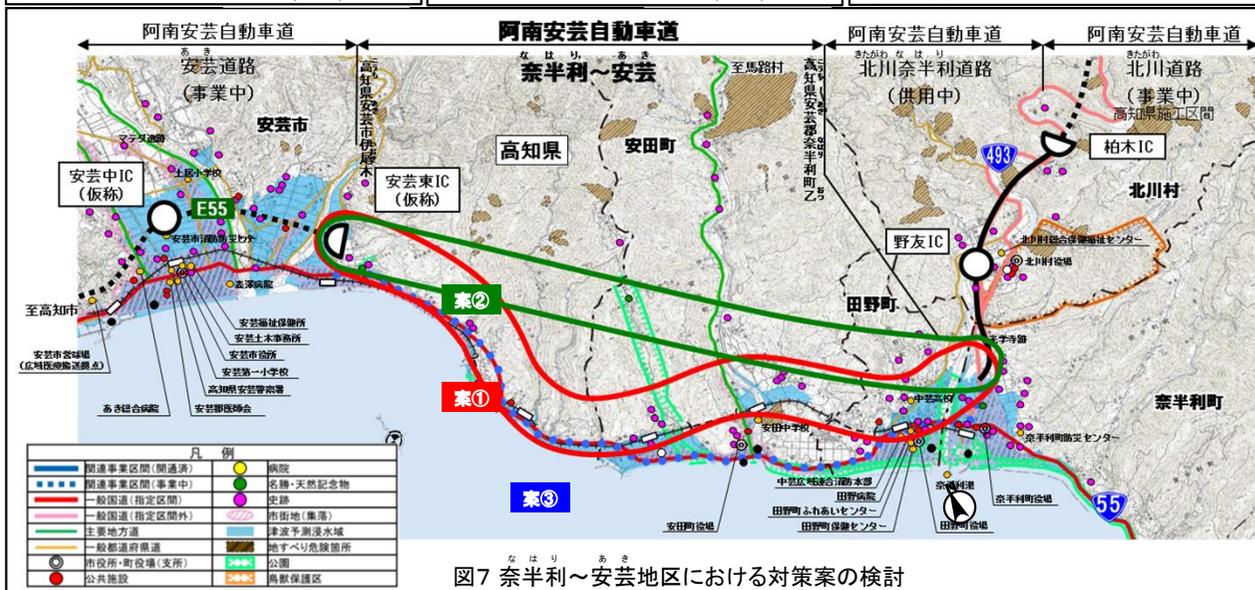


図7 奈半利～安芸地区における対策案の検討

計画段階評価、都市計画決定の状況

- ・H28年12月 第1回四国地方小委員会
 - ・H30年1月 第2回四国地方小委員会
 - ・H31年2月 第3回四国地方小委員会
 - ・H29年9月～10月 第1回意見聴取
 - ・H30年9月～11月 第2回意見聴取
- 地域の要望等
- ・R2年1月 一般国道55号・阿南安芸自動車道整備促進期成同盟会及び国道493号整備促進期成同盟会が計画段階評価完了箇所等の早期事業化を国土交通省に要望
 - ・R2年8月 四国8の字ネットワーク整備・利用促進を考える会が財務省へ早期事業化を要望
 - ・R2年10月 一般国道55号・阿南安芸自動車道整備促進期成同盟会及び国道493号整備促進期成同盟会が未事業化箇所の早期事業化を国土交通省に要望
 - ・R2年11月 四国8の字ネットワーク整備促進四国東南部連盟が早期事業化を国土交通省に要望
 - ・R3年7月 四国8の字ネットワーク整備促進四国東南部連盟が国土交通省に四国8の字ネットワーク未事業化区間の早期事業化を要望
 - ・R3年11月 四国8の字ネットワーク整備促進四国東南部連盟が財務省、国土交通省へ四国8の字ネットワーク未事業化区間の早期事業化を要望
 - ・R3年12月 四国8の字ネットワーク整備・利用促進を考える会が財務省へ早期事業化を要望
 - ・R4年1月 高知県知事が国土交通省へ早期事業化を要望
 - ・R4年8月 四国8の字ネットワーク整備・利用促進を考える会が国土交通省へ早期事業化を要望
 - ・R5年1月 高知県知事が財務省、国土交通省へ早期事業化を要望
 - ・R5年8月 四国8の字ネットワーク整備促進四国東南部連盟が財務省、国土交通省へ早期事業化を要望
 - ・R6年1月 四国8の字ネットワーク整備・利用促進を考える会が国土交通省へ早期事業化を要望
 - ・R6年1月 高知県知事が財務省、国土交通省へ早期事業化を要望